

★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 山岡克式 副委員長 岸田卓治
幹事 北原 武・木村達郎 幹事補佐 金子晋丈・夏目貴史

★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 村田英一 副委員長 田野 哲・眞田幸俊・福田英輔
幹事 旦代智哉・須山 聡 幹事補佐 山本哲矢・西村寿彦・石原浩一・村岡一志・衣斐信介

★ネットワーク仮想化研究会 (NV) (第二種研究会)

専門委員長 島野勝弘 副委員長 長谷川輝之
幹事 宮澤高也・坂井田規夫 幹事補佐 石井大介・篠原悠介・瀧田 裕

◎本研究会は IN 研究会, RCS 研究会, NV 研究会の併催です。研究会資料は研究会ごとに作成されます。また, IN 研究会, RCS 研究会は平成 29 年度において参加費が必要になりますので, 下記を御参照下さい。

http://www.ieice.org/cs/kensen/special/e_gihou2017/e_gihou2017_index.html

日時 5月11日(木) 9:20~18:35

12日(金) 9:20~16:50

会場 機械振興会館地下3F 研修2号室 (港区芝公園3-5-8. <http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>)

議題 アドホック・センサネットワーク・MANET, モバイルネットワーク, M2M・IoT 通信制御, 無線 LAN (Wi-Fi), IEEE802.15 (ZigBee) 及び一般

11日午前 RCS1

RCS-1. 5G 低 SHF 帯 Massive MIMO デジタルビームフォーミング方式におけるサイト間連携制御の適用規範検討

○吉岡翔平・須山 聡・奥山達樹・増野 淳・奥村幸彦 (NTT ドコモ)

RCS-2. ハイブリッドビームフォーミングを用いる高 SHF 帯 Massive MIMO における実伝搬データを用いた特性評価

○宮崎寛之・佐藤 圭・須山 聡・増野 淳 (NTT ドコモ)・中川兼治・梅原秀夫・岡崎彰浩 (三菱電機)・奥村幸彦 (NTT ドコモ)

RCS-3. Performance of Massive MIMO Systems Using Integer Space-Time Block Codes for Uplink Channels
Tatsumi Konishi (Aichi Inst. of Tech.)

RCS-4. A cooperative wavelet based compressive sensing technique for wideband spectrum sensing

○Osama Elnahas (Kyushu Univ.)・Maha Elsabrouty (E-JUST)・Osamu Muta・Hiroshi Furukawa (Kyushu Univ.)

RCS-5. ニューラルネットワークを用いた位置推定手法の一検討 ○金沢 昇・長手厚史 (ソフトバンク)

RCS-6. 動的経路飛越しによるマルチホップ通信のスループットに関する理論検討

浅倉龍次・○山崎悟史 (沼津高専)・大内浩司 (静岡大)

11日午後 RCS2

RCS-7. Full Duplex における繰り返しデジタル自己干渉キャンセラの特性

大友崇裕・山田大貴・○佐和橋 衛 (東京都市大)・齊藤敬佑 (NTT ドコモ)

RCS-8. OFDM-MIMO 多重におけるフェージング相関に基づく MCS 選択テーブル選択法のスループット特性

原品颯太・久下泰博・○佐和橋 衛 (東京都市大)・齊藤敬佑 (NTT ドコモ)

RCS-9. NB-IoT における周波数オフセットに対する周波数領域 PVS 送信ダイバーシチのセル ID 検出確率特性

○志村 彩・佐和橋 衛 (東京都市大)・岸山祥久 (NTT ドコモ)

RCS Express セッション

RCS-10. ZF プリコーディング信号に対する線形干渉キャンセルの特性解析 村田英一 (京大)

IN1

IN-11. アクセスポイントからの通信を優先した無線 LAN MAC 制御手法の提案と評価

○後 継元・中山雅哉・若原 恭 (東大)

IN-12. アドホックネットワークのための各ノードの電池残量を考慮したネットワーク長寿命化ルーティングアルゴリズム

○齋藤幸寿・山本 遼・河野隆二 (横浜国大)

IN 招待講演

共通-13. [招待講演] 柔軟なアクセスシステムを実現する FASA (Flexible Access System Architecture) について
太田憲行 (NTT)

14. (第二種研究会) ネットワーク仮想化時限研究会 (NV) 招待講演

<http://www.ieice.org/~nv/conference/>

RCS 招待講演

共通-15. [招待講演] 体内に埋め込んだ RFID マーカーの位置推定 岡田 実 (奈良先端大)

12 日午前 RCS4

RCS-1. BLE のためのプリアンブルによる伝搬路推定を適用した繰り返し検出に関する一検討

○衣斐信介・三瓶政一 (阪大)

RCS-2. BLE における ICA に基づく SDMA のためのプリアンブルによる位相回転補償に関する一検討

○瀧川将弘・衣斐信介・三瓶政一 (阪大)

RCS-3. BLE ビーコンサービスアーキテクチャの検討

藤森和香子 (リアライズ・モバイル)・谷村和彦 (日立)・木下研作・吉川憲昭・○坂下剛誠 (サイバー創研)

RCS-4. IEEE 802.11 における後続起動アクセスポイントを考慮した適応チャンネル選択

○中野隼輔・稲毛 契 (都立産技高専)

IN2

IN-5. イントラネットからの情報漏洩防止のための端末操作分析機能の分散化技術

○前田龍志・村山純一 (東海大)

IN-6. アドホックネットワークにおける予測リンク継続時間とホップ数を考慮した経路制御方式

○長田 航・三須剛史・花田真樹 (東京情報大)・金光永煥 (早大)・永井保夫 (東京情報大)

IN-7. 細胞分裂モデルにもとづくセンサー情報のサンプリング周期制御法

○荒川伸一 (阪大)・近重裕次・ライブニツ賢治・原口徳子 (NICT)・平岡 泰・村田正幸 (阪大)

12 日午後 特集セッション「将来無線通信に適したネットワーク技術, 仮想化技術及び無線アクセス技術」1 (13:25~)

RCS-8. [依頼講演] セルラネットワークの確率幾何解析の基礎 山本高至 (京大)

RCS-9. [依頼講演] Rel-13/14 における LTE IoT と今後の mMTC

○武田和晃・佐野洋介 (NTT ドコモ)・チェン シャオハン (ドコモ北京研)・永田 聡・中村武宏 (NTT ドコモ)

IN-10. [依頼講演] 災害時におけるマルチホップ D2D 通信の到達性分析

○上山憲昭・石橋圭介・星合擁湖 (NTT)

IN-11. OpenFlow による分散型仮想ファイアウォール実装方式 ○玄 英哲・村山純一 (東海大)

12. (第二種研究会) ネットワーク仮想化時限研究会 (NV) 一般講演

<http://www.ieice.org/~nv/conference/>

◎11 日研究会終了後に懇親会を予定しておりますので, 是非御参加下さい。

☆IN 研究会

【問合先】

IN 研究会幹事及び幹事補佐

北原 武 (KDDI 研)・金子晋丈 (慶大)

E-mail: in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

◎IN 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎なお, 原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり, 原稿なしでの御発表となります。プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆RCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6 月 21 日 (水)~23 日 (金) 石垣商工会館 [締切済] テーマ:初めての研究会, リソース制御, スケジューリング, 無線通信一般

7 月 19 日 (水)~21 日 (金) 北大 [未定] テーマ:無線分散ネットワーク, M2M (Machine-to-Machine), D2D (Device-to-Device), 一般

8 月 17 日 (木), 18 日 (金) 新潟市内 [6 月 12 日 (月)] テーマ:移動衛星通信, 放送, 誤り訂正, 無線通信一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

衣斐信介 (阪大)

E-mail: rcs_ac-entry@mail.ieice.org